



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)熊谷 正史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)杉本 英 TEL (053) 522 - 5176
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 1,773 | 61.9 | △92 | — | △78 | — | △99 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 1,094 | — | △236 | — | △215 | — | △202 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | △7.24 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △14.78 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 3,776 | 2,329 | 61.7 | 169.98 |
| 22年3月期 | 3,976 | 2,428 | 61.1 | 177.14 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,329百万円 22年3月期 2,428百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,500 | 18.7 | 25 | — | 36 | — | 13 | — | 0.95 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期3Q | 13,934,592株 | 22年3月期 | 13,934,592株 |
| 23年3月期3Q | 231,987株 | 22年3月期 | 227,828株 |
| 23年3月期3Q | 13,705,077株 | 22年3月期3Q | 13,709,249株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料] 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 9 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復、企業収益の改善、経済対策効果等により緩やかな回復基調となりましたが、深刻化する雇用環境や円高影響が懸念されるなど、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、地上波デジタル放送への対応やエコポイント効果等により、関連製品の需要は堅調に推移するとともに、設備投資案件も増加傾向で推移し、緩やかではありますが回復の兆しが見え始めてまいりました。

このような状況のなかで当社は、既存製品の拡販に注力する一方、顧客ニーズに対応した新製品の開発や製品改良を積極的に展開するとともに、さらなる原価低減および諸経費の削減に注力いたしました。

受注高につきましては、特殊機器・装置関連の引き合いは、総じて低調でありましたが、主力である光ディスク関連の海外向け生産用設備が好調であったことから、18億17百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

(注) 前年同期比の算出に使用した前第3四半期累計期間の受注高は、「平成22年3月期第3四半期決算短信」で公表した受注高（27億41百万円）から、受注先の都合により受注取消しとした「特殊記録用ドライブ」の受注高（10億円）を控除した受注高（17億41百万円）を使用しております。

売上高につきましては、光ディスク関連の生産用設備及び研究開発用設備がいずれも好調に推移するとともに、3Dスキャナ及び専用検査装置も好調であったことから、17億73百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

損益面につきましては、諸経費の削減を継続するとともに、原材料費のさらなるコストダウンに注力いたしました。既存製品の改良や新製品開発を積極的に行ったことなどにより、92百万円の営業損失（前年同期は2億36百万円の損失）、78百万円の経常損失（前年同期は2億15百万円の損失）となり、旧本社工場の売却に伴う特別損失の計上により、99百万円の当期純損失（前年同期は2億2百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期累計期間末における総資産は37億76百万円となり、前事業年度末と比べて2億円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が66百万円、無形固定資産が39百万円それぞれ増加し、有価証券が2億50百万円、有形固定資産のその他が89百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は14億47百万円となり、前事業年度末と比べて1億1百万円減少いたしました。これは主に、未払金が68百万円増加し、長期借入金が1億23百万円、1年内返済予定の長期借入金が41百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は23億29百万円となり、前事業年度末と比べて98百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1億43百万円増加し、資本剰余金が2億42百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、10億31百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、49百万円となりました。

主な増加要因は、ファクタリング債務の増加75百万円、減価償却費の計上42百万円であり、主な減少要因は、税引前四半期純損失の計上96百万円、たな卸資産の増加80百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、23百万円となりました。

主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入97百万円であり、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出54百万円、その他の投資等への支出50百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億65百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出1億64百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間の業績及び今後の動向を検討した結果、現時点においては、平成22年10月19日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期累計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

③ 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、5期連続して当期純損失を計上しております。このような状況を解消するため、営業力の強化に努め、既存製品の拡販や受注の確保に注力するとともに、原価率の改善、人件費を含めたさらなる諸経費の削減などの諸施策を実施しております。引き続き、早期の業績回復と経営体質の改善に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 431,811 | 432,387 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,112,397 | 1,084,260 |
| 有価証券 | 600,000 | 850,000 |
| 仕掛品 | 465,870 | 451,426 |
| 原材料及び貯蔵品 | 140,133 | 73,842 |
| その他 | 34,668 | 71,382 |
| 貸倒引当金 | △10,031 | △9,855 |
| 流動資産合計 | 2,774,848 | 2,953,444 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 341,510 | 361,197 |
| その他(純額) | 265,613 | 355,445 |
| 有形固定資産合計 | 607,124 | 716,642 |
| 無形固定資産 | | |
| | 39,717 | 207 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 86,798 | 88,626 |
| その他 | 268,367 | 218,412 |
| 貸倒引当金 | △516 | △525 |
| 投資その他の資産合計 | 354,649 | 306,513 |
| 固定資産合計 | 1,001,491 | 1,023,363 |
| 資産合計 | 3,776,339 | 3,976,808 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 146,770 | 131,708 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 178,351 | 219,996 |
| 未払金 | 384,233 | 316,183 |
| 未払法人税等 | 3,767 | 8,052 |
| その他 | 101,616 | 80,540 |
| 流動負債合計 | 814,739 | 756,480 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 40,000 | 163,352 |
| 退職給付引当金 | 561,239 | 597,702 |
| 役員退職慰労引当金 | 13,942 | 13,942 |
| その他 | 17,286 | 17,286 |
| 固定負債合計 | 632,468 | 792,283 |
| 負債合計 | 1,447,207 | 1,548,764 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,491,375 | 1,491,375 |
| 資本剰余金 | 1,099,653 | 1,342,533 |
| 利益剰余金 | △99,193 | △242,880 |
| 自己株式 | △163,059 | △162,463 |
| 株主資本合計 | 2,328,774 | 2,428,564 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 357 | △520 |
| 評価・換算差額等合計 | 357 | △520 |
| 純資産合計 | 2,329,132 | 2,428,043 |
| 負債純資産合計 | 3,776,339 | 3,976,808 |

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 1,094,945 | 1,773,202 |
| 売上原価 | 842,570 | 1,276,791 |
| 売上総利益 | 252,374 | 496,410 |
| 販売費及び一般管理費 | 488,436 | 588,591 |
| 営業損失(△) | △236,061 | △92,180 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,294 | 508 |
| 受取配当金 | 277 | 336 |
| 助成金収入 | 51,287 | 36,644 |
| その他 | 2,249 | 4,089 |
| 営業外収益合計 | 55,109 | 41,579 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,689 | 3,967 |
| 減価償却費 | 2,928 | 540 |
| 遊休資産管理費用 | 6,589 | 4,372 |
| 為替差損 | 12,405 | 14,803 |
| 投資事業組合運用損 | 5,542 | 3,704 |
| その他 | — | 781 |
| 営業外費用合計 | 34,154 | 28,170 |
| 経常損失(△) | △215,107 | △78,772 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 95 |
| 投資有価証券売却益 | 12,654 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 4,832 | — |
| 償却債権取立益 | — | 1,744 |
| 特別利益合計 | 17,487 | 1,839 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 780 | 560 |
| 減損損失 | — | 16,542 |
| 保険解約損 | 149 | — |
| その他 | — | 1,968 |
| 特別損失合計 | 929 | 19,072 |
| 税引前四半期純損失(△) | △198,549 | △96,004 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,059 | 3,189 |
| 法人税等合計 | 4,059 | 3,189 |
| 四半期純損失(△) | △202,609 | △99,193 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失(△) | △198,549 | △96,004 |
| 減価償却費 | 47,762 | 42,561 |
| 減損損失 | — | 16,542 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △25,997 | 167 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △56,002 | △36,463 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,572 | △844 |
| 支払利息 | 6,689 | 3,967 |
| 為替差損益(△は益) | 6,734 | 12,091 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 5,542 | 3,704 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △12,654 | — |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | — | △95 |
| 有形固定資産除却損 | 133 | 560 |
| 保険解約損益(△は益) | 149 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 378,373 | △28,137 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △401,296 | △80,733 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 37,041 | 4,992 |
| ファクタリング債務の増減額(△は減少) | △100 | 75,556 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 2,908 | 6,096 |
| その他 | △69,518 | 33,056 |
| 小計 | △280,357 | △42,980 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,561 | 873 |
| 利息の支払額 | △6,684 | △3,916 |
| 法人税等の支払額 | △4,877 | △4,006 |
| 法人税等の還付額 | 815 | 302 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △289,542 | △49,727 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △20,463 | △54,237 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △16,130 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 97,101 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △1,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 24,900 | — |
| 貸付けによる支出 | — | △1,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,024 | 2,086 |
| 差入保証金の回収による収入 | 30,000 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | 52,542 | — |
| その他 | — | △50,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 90,002 | △23,180 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △164,997 | △164,997 |
| 自己株式の取得による支出 | △243 | △595 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △165,240 | △165,592 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6,740 | △12,076 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △371,520 | △250,576 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,793,983 | 1,282,387 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,422,463 | 1,031,811 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、電子応用機器・装置事業の単一セグメントでありますので、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

| 生産高 (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------|-------------|
| 1,735,158 | 107.3 |

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

| 受注高 (千円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 1,817,347 | 104.4 | 761,140 | 83.9 |

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 前年同四半期比の算出に使用した前第3四半期累計期間の受注高及び受注残高は、「平成22年3月期第3四半期決算短信」で公表した受注高(27億41百万円)及び受注残高(19億6百万円)から、受注先の都合により受注取消しとした「特殊記録用ドライブ」の受注高(10億円)を控除した受注高(17億41百万円)及び受注残高(9億6百万円)を使用しております。

③ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

| 販売高 (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------|-------------|
| 1,773,202 | 161.9 |

(注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。

なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

| 輸出先 | 前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | | 当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | |
|-------|--|--------|--|--------|
| | 販売高 (千円) | 割合 (%) | 販売高 (千円) | 割合 (%) |
| アジア | 218,226 | 51.2 | 803,035 | 92.0 |
| 北米 | 172,764 | 40.6 | 39,910 | 4.6 |
| ヨーロッパ | 34,852 | 8.2 | 29,964 | 3.4 |
| 計 | 425,843 (38.9%) | 100.0 | 872,909 (49.2%) | 100.0 |

2 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

| 相手先 | 当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | |
|-------------------------|--|--------|
| | 販売高 (千円) | 割合 (%) |
| World Vantage Co., Ltd. | 505,682 | 28.5 |

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。